

本リリースは、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに配布しています

News Release

平成 26 年 11 月 25 日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構

ガス・石油暖房機器による事故の防止について（注意喚起）

NITE（ナイト）[独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井至、本所：東京都渋谷区西原]は、平成 26 年 11 月 27 日（木）に本所ナイトスクエアにおいて、「ガス・石油暖房機器による事故の防止について（注意喚起）」に係る記者説明会を開催します。

1. 冬を迎え、暖房機器を使用する機会が増えますが、それに伴い暖房機器による事故も多く発生しています。ガス・石油暖房機器[※]による事故は、火災や一酸化炭素中毒、やけどを伴う場合が多く、火災による被害とともに重篤な人的被害も多く発生しており、注意が必要です。
2. NITE に寄せられた製品事故情報のうち、ガス・石油暖房機器による事故は平成 21 年度～平成 25 年度の 5 年間に 602 件（死亡事故 64 件、重傷事故 31 件、軽傷事故 114 件、拡大被害 265 件、製品破損 91 件、ほか 37 件）発生しています。このうち 310 件が火災を伴う事故となっています。
事故の特徴としては、使用者の誤使用・不注意等による事故が多く、石油ストーブのカートリッジタンクのふたをしっかりとしめていなかったため、ふたが外れて灯油がこぼれ、燃焼部にかかって火災が発生した事例（死亡事故）や、誤ったガス接続具を使用したため、ガスが漏れてガスファンヒーターの火が引火してやけどを負った事例（軽傷事故）等が報告されています。
3. ガス・石油暖房機器の事故は 12 月から 1 月にかけて最も多く発生しています。
ガス・石油暖房機器の使用が増える季節にむけて、製品を正しく使用し、事故を未然に防止していただくため、NITE に報告された事故事例を交えて注意喚起を行います（詳細は、次ページをご参照ください）。

(※) 石油ストーブ、石油温風暖房機（ファンヒーター）、ガスストーブ、ガス温風暖房機（ファンヒーター）

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 大福 敏彦
担当者 池谷、西澤、長田

- 記者説明会前日及び当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会前々日まで及び翌日以降
電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280

1. 記者説明会開催概要

日 時：平成 26 年 11 月 27 日（木） 10:00～（開場 9:00～）

会 場：ナイトスクエア（東京都渋谷区西原 2-49-10 NITE 1 階）

※ 参加を希望される方は、平成 26 年 10 月 22 日（木） 18:00 までに、「お問い合わせ先担当者」へご連絡ください。会場準備のために必要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。



[電車でお越しの場合]

- 京王新線「幡ヶ谷」駅から徒歩約 10 分
- 小田急線・東京メトロ千代田線
「代々木上原」駅から徒歩約 15 分

2. ご説明する内容

NITE に通知されたガス・石油暖房機器による事故について、事故の発生状況や傾向、事故事例、事故を防止するためのポイント等について、再現実験映像を交えてご紹介いたします。

また、当日は事故の再現実験映像、静止画を収録した DVD を配布いたします。

(図) 石油ストーブの給油タンクから漏れた灯油が引火する様子 (再現実験)



3. 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区西原）では、入館管理システムとして、セキュリティゲートを導入しております。入退館の際は、受付にて発行する入館許可証が必要となりますので、お手数おかけいたしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

入館時：受付で外来者用入館許可証をお渡ししますので、セキュリティゲートの読み取り部分にかざして入館してください。

退館時：入館許可証を受付に返却してください。

※ 庁舎内では、入館許可証を首からお下げください